

2017 年度 センター試験 生物基礎（本試験） 分析

全体概況

試験時間 2科目で 60分

大問数・解答数	大問数：3 題	解答数：17 問
難易度の変化（対昨年）	○ 難化 ○ やや難化	○ 変化なし ● やや易化 ○ 易化
問題の分量（対昨年）	○ 増加	● 変化なし ○ 減少
出題分野の変化	○ あり	● なし
出題形式の変化	○ あり	● なし
新傾向の問題	○ あり	● なし
<p>総評 昨年度に引き続き、グラフから考察を求める出題があった。しかし、実験結果から考察を求めるような出題は見られなくなった。計算問題が昨年と同じく 1 題出題されたが、昨年と比べると難易度は低かった。</p> <p>生物基礎に費やす時間を 30 分と仮定した場合、問題の量は妥当であると思われる。全体的に昨年度の問題と比べると平易な問題が多かったので、やや易化したと言える。</p>		

大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	コメント
第 1 問	A: 細胞と代謝 B: 遺伝子	19 点	A は細胞の構造に関する問題であった。問 1 は細胞に含まれている物質についての知識を問う問題であった。 B は遺伝子に関する問題であったが、細胞周期の計算問題が含まれていた。
第 2 問	A: 生物の体内環境 B: 生物の体内環境	15 点	A は体液について幅広い知識を問う問題であった。 B は免疫に関する問題であったが、教科書に基づいた基本的な問題であった。
第 3 問	A: バイオーム B: 生態系	16 点	A はバイオームに関する問題で見慣れない図が出題されたが、落ち着いて取り組めば決して難しいものではなかった。 B は生態系に関する問題であったが、今までに出題が少ない土壌に関する問題であった。